Planning Lecture (Free Entry) | Joint Session | Joint Session 3 - Health Physics and Environment Science subcommittee, Radiation Science and Technology subcommittee

[1F_PL]Current activities and future perspectives of Research Group on Radiological Aspects of Emergency Countermeasuresand

Chair:Sumi Yokoyama(Fujita Health Univ.)

Mon. Mar 16, 2020 1:00 PM - 2:30 PM Room F (Lecture Bildg. M 1F M-2)

[1F_PL03]Discussion

future perspectives from the view of radiation effects

*All Presenters[1]

放射線影響分科会は福島事故発生直後に保健物理・環境科学部会、放射線工学部会、社会・環境部会の3つの部会の混成チームで編成され、設立されました。
事故後、放射線被害と社会混乱を最小限にとどめることを目指し、放射線被ばくのリスクをめぐる情報の整理と一般の人との対話を継続してきました。
事故9年を迎えようとしている現状においても、環境修復と被ばく線量低減化対策、
住民の被ばく線量の再構築、放射線作業に従事した作業者や住民の健康影響、また廃炉作業に関連しても多くの残された課題があります。本企画では関連部会（分野）での企画や一般発表を中心とした研究の動向を総括するとともに放射線影響の観点から今後の展望を討議します。

©Atomic Energy Society of Japan